

## 5. 評価の結果

【評点（5段階）】 5：優れている 4：良い 3：普通 2：やや劣る 1：劣る

評価項目	前田委員	木 村 代理委員	石崎委員	東委員	林田委員	皆川委員	恩田委員
I 教務に関する事項	3	4	4	5	5	5	3
II 学生に関する事項	3	4	4	5	3	4	3
III 専攻科に関する事項	3	4	3	4	3	5	3
IV 国際交流に関する事項	3	4	4	4	3	4	3
V 地域連携に関する事項	3	4	4	4	4	5	3
VI 管理運営に関する事項	3	4	4	5	3	4	3

### 各委員からのコメント

#### I 教務に関する事項

- ・学生募集について、隣県にも幅広く PR されており、良い取り組みだと思えます。新潟県北部地域にも PR していただくと良いのではと思えます。
- ・少子化が進む中、県立高校は生徒数の減少に伴う再編計画を進めていますが、高専では、平成 27 年度の学科再編、県内外の中学校訪問や一日体験入学等を実施しての志願者確保や女子志願者の目標を掲げての確保によく努力しています。
- ・今年度の新聞広告のように、これからも広く高専の特色や取組みをわかりやすく知らせ、中学生や一般の方の認知度を高めていく必要があると考えます。
- ・1 年次から地域コミュニティ学やビジネスに関する講義を行うなど早期からキャリア教育を行い、2 年次からは地元企業との CO-OP 教育など、低学年のうちから企業での現場教育を通して、実践的エンジニア育成の取組みをうまくされている。全学生を対象としてさらに発展させて欲しい。
- ・原級留置率が 2 % 以下と全国の国立高専の中でも低い値を示していることは評価できる。また、2 年進級時のコース配属の第一希望での決定率が 95 % 以上と高く、担任が丁寧な対応をされていることがこの結果を生んでいると考えられ、高く評価できる。
- ・学科再編に伴うコース配属が円滑に完了されていることなど、学生へのきめ細かな教育・指導が行われていることに敬意を表します。複合的能力を備えた人材の育成に寄与するという観点からも、地場産業や地域と密接した学習の機会がさらに増えていくことを希望いたします。
- ・少子化により他の高校や大学が再編や定数削減を行う中、志願倍率を上げつつ学生数を

確保しており評価したい。

- ・学科再編による2年次の基礎コース決定が、ほぼ1次希望通り決定できていることを評価したい。
- ・高専の認知度（評価？）を上げる視点の一つが、私の場合もそうでありましたが「学費が安い」ことです。近年、貧困家庭の増加が問題となっており、親や教師が学生に高専を勧める上で、比較的割安な学費はPR点になるのではないのでしょうか。

## II 学生に関する事項

- ・卒業生等のUターン支援事業について、県やハローワークなど関係機関との連携をより一層強化していただくと更により取組みになると思います。
- ・就職先の豊富さ（求人倍率12.8倍）であり、すばらしいと思います。これからも地域の自治体や企業との連携を広げ、地元で就職し、貢献できる人材の育成をお願いします。
- ・卒業生の地元への就職を増やすためのさらなる取組みに期待する。
- ・多感な時期の学生の指導に大変な苦勞されていることとお察しする。
- ・学生の75%が庄内出身者であるが、庄内での定着は就職者の20%程度である。CO-OP教育等かなり努力されていることに敬意を表するが、地域の高専に対する期待からするともう少し地元への定着率をあげてほしい。
- ・地元就職を中心とした進路指導についてご理解とご協力をいただいております。感謝申し上げますとともに、今後一層推進されることを改めてお願いいたします。学生生活の指導については、学生会、寮生会等を通じた密な対話が重要になるものと考えますので、継続・発展されることをご期待申し上げます。
- ・多岐にわたる指導がなされており、今後も継続願いたい。特に今年は学生の自殺が話題となり、カウンセリングの対応が早速取られたことに、安堵している。
- ・女子学生増加策の推進が遅延しているように感じる。女性教員の増加等、方針に誤りはないと考えるが、さらに取組みを強化すべきと考える。

## III 専攻科に関する事項

- ・融合・複合教育について、企業の現場では幅広い分野で専門的知識・技術を有する多能工やIoTを実現できるデータサイエンティストなどが求められています。時代にマッチした取組みですので、上述のような即戦力の育成を更に強化していただきたいと思います。
- ・大学との違いを明確にしなが、特色ある教育を進めていることがわかりました。平成15年4月に設置されていますが、まだ中学生や一般への認知度は低いように感じます。今年度の新聞広告には、2名の修了生が紹介されておりましたが、今後も機会ある毎に、わかりやすく広報し、中学生や一般の方の認知度を高めていく必要があると思います。
- ・地元企業との共同研究やインターンシップを増やして、修了生の地元就職を増やすため

のさらなる取り組みに期待する。長岡技大も専攻科の教育・研究を様々な面から支援したい。

- ・大学との違う特徴的な教育として、融合・複合教育に取り組まれていることを評価したい。ただ、研究力や英語力の強化や地域との連携研究など、総花的な印象もぬぐえない。庄内地域の地元企業のリーダー育成をもっと強調した教育をめざしてもよいのではないか。
- ・専攻科生の優れた研究成果や進路状況については、学科からの一貫性のあるカリキュラム及び先生方の指導の賜物と思料いたします。社会人や海外からの留学生など多様な人材を受け入れながら、教育プログラムのさらなる充実を図っていただきたいと思います。

#### IV 国際交流に関する事項

- ・インバウンドが盛んに取り上げられる時代ですが、アウトバウンドがなければ交流人口の拡大はありません。その点で貴校の取組みは国際交流拡大の重要な芽出しとなりますので、大いに取り組んでいただきたいと思います。
- ・地域に貢献する人材とともにグローバルな視点をもつ人材を育成することは重要であり、今後も国際交流等を進めて頂きたいと思えます。そして、国際交流で選択できる国々を広げていただきたいと思います。
- ・活発に国際交流を進めておられることに敬意を表します。若いうちから海外に出て行って視野を広めさせてください。長岡技大も様々な面から支援したい。
- ・国際交流活動を活発化させていることは評価できるが、それをどのように教育に活用しているのか、さらなる工夫と効果の検証の仕組みづくりを期待したい。
- ・留学生の滞在施設については、シェアハウス等も含めて他の高等教育機関と協力して対応することが効果的だと考える。
- ・教育・研究活動の一層の充実にかさすことのできない視点であると考えます。グローバルに活躍できる人材を育成するため、戦略的な提携関係の構築や、海外においてより実践的な学びが得られるカリキュラムの整備など、さらなる展開にご期待申し上げます。

#### V 地域連携に関する事項

- ・CO-OP教育は学生の地域定着を図る上で最も重要な取組みであり、県としても全面的にバックアップしていく必要があると考えます。より多くの生徒が参加できるよう県においても連携して取り組みますので、宜しくお願いします。
- ・今後も地域連携センターを中核とする地域連携、人材育成を進めていただきたいと思います。一層のCO-OP教育と実習後の就職活動とのつながりを大事にし、地元就職、地元貢献につなげていただきたいと思います。
- ・地元企業へのインターンシップをさらに増やしていただきたいと思います。CO-OP教育の発展に

よる地元就職者増と地元産業の活性化を期待します。

- ・ CO-OP 教育と K-ARC の取り組みは高く評価できる。今後さらに参加する学生が増えることを期待している。
- ・ 鶴岡高専技術振興会との連携事業をはじめ、K-ARC での研究や CO-OP 教育など様々な形で取組まれており、市としても地域連携センターを通じ連携を密にして事業をさせていただいております。地域企業の競争力向上に資する実用化研究等での連携や、地域課題解決のための活動等、貴校の持つ知見を幅広く本地域に提供いただき厚く感謝申し上げます。今後、学生の方々が卒業後にも本地域に止まり活躍していただくことを重要なテーマとし、各事業で一層の連携を図らせていただきたく考えております。
- ・ インターンシップ（昔は工場実習）は企業からすれば、長期間の勤務状況から優秀な人材を見つける機会となる。また学生は社会体験から、今後必要とされるものを自分の目で確認する機会でもある。通勤方法が課題とすれば保護者会の協力を願う等、拡充に向けた取り組みが必要ではないか。

## VI 管理運営に関する事項

- ・ 交付金の削減など独立行政法人として厳しい財政状況がありますので、技術振興会の会員企業の拡大などにより、企業との共同研究拡大や企業からの寄附講座開設など、地域企業からの支援拡大を図っていただければと思います。
- ・ 経費節減の中、予算の効率的運用をしており、今後も予算確保のため創意工夫をお願いします。
- ・ 女性活躍推進法や男女共同参画社会の理念のもと、これからも女性の採用や昇任等に配慮をお願いします。
- ・ 予算削減の大変な状況の中で、外部資金獲得や経費節減に成果をあげられていることに敬意を表します。
- ・ 運営費交付金が毎年削減される中で、外部資金の積極的な獲得と光熱水道料の削減に努力されていることに敬意を表す。
- ・ 競争的資金獲得の推進に係る今後のさらなる働きかけや、教員・職員の方々の資質向上に係る取り組みはさらに重要になるものと思料いたします。一方で、貴校の多方面にわたるご活躍と並行し、教員・職員の方の業務量も増加の傾向にあるかと拝察いたしますので、職務環境等に関するマネジメントについてもご留意いただければと存じます。
- ・ 学生及び学校職員の事件、事故を含めた不祥事案、各種ハラスメント等の発生により、社会的な批判にさらされることの無いよう管理指導を徹底願います。また不幸にして発生した場合は厳正な対応を取られるよう希望します。

## 【総評】鶴岡工業高等専門学校に対する全般的な意見

- ・ 本県ものづくりを支える貴校の生徒の地元定着は、県の最重要課題ですので、ご理解賜

りますとともに、CO-OP 教育の充実等に県も一緒に取り組みますので、宜しくお願いいたします。

- ・今回の運営協議会で、あまり知らなかった高専の取組、実績（成果）と課題を知ることができ、よい機会をいただいたことに感謝します。
- ・私の役割は、田川中学校長会の校長 14 名が勤務校の職員を通して、中学生に高専の特色、取組をわかりやすく伝えていくことであり、志願者確保につながることや高専の認知度を上げることの一助になればと考えています。
- ・CO-OP 教育や K-ARC など先導的な教育研究を地域連携に重点を置いて展開されており、他の模範となるものであり高く評価します。今後の発展を期待します。
- ・他の高等教育機関とは異なる高専の特徴を活かした先導的な取り組みがなされていると思います。人口減少が著しい地方都市にとって、そこに位置する高専の役割はますます大きくなると思われます。今後の発展を期待します。
- ・「研究する高専」、「地域に貢献する高専」、「国際通用性を有するエンジニアを育成する高専」を目指し、日々取り組まれている姿勢とその実績に深く敬意を表します。ご報告いただいた質の高い教育・研究活動を継続しながら、新たな取組みへの挑戦やご意見のあった部分の改善等を含め、一層力強く前進されることをご期待申し上げる次第です。
- ・他の高専や大学等の改革や取組み等を把握できない立場にあり、辛目の評価となりますが「普通」とさせていただきます。

現在のところ悪い点はなく、伸びしろは大きいとの評価です。今後とも、「より良い教育環境」と、「より良い職場」造りにご努力をお願い致します。